



# さくら薬局だより

初夏号

2009.No.42



## 明日の天気は変えられないが明日の政治は変えられる

さくら薬局の国道3号線に向けた外壁には、つねに横断幕が掲げられています。水俣病や環境問題、反核・平和の課題など、そのときどきのテーマで、信号待ちのドライバーさんから「見ました」と反響の電話がかかってくることもあります。

現在は、「あっていい戦争なんかひとつもない。なくていい平和なんてひとつもない。憲法九条を世界へ輸出しよう!」。小学校の通学路にもあたりますので、なるべくわかりやすいスローガンを中心にしています。

「戦争の悲惨さを知らぬ“政治的稚児”のままの世代が、権力者として、いまや日米の政界を牛耳っている」「戦争より論争を選択すべきである」。保守派の論客といわれる明治大学元学長の故岡野加穂留氏の言葉です。著書のタイトルは『明日の天気は変えられないが明日の政治は変えられる』。

自分なりの言葉を選びながら、おおいにアピールしましょう。薬局でそこまでやるの?いいえ、人の命を大切にす薬局だからこそ、こういうことまでやりぬくのです。

(水俣さくら薬局/事務長・山近 茂)

### さくら薬局の加盟する全日本民主医療機関連合会会長の声明を紹介します

## 与党の水俣病問題に関する「特別措置法案」に断固反対する

2009年3月25日 全日本民主医療機関連合会 会長 鈴木 篤

自民・公明両党は3月13日、水俣病の「最終解決」をはかるとして「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の最終解決に関する特別措置関連法案」を衆議院に提出した。しかし、同法案の言う「最終解決」は、(1)被害者を大量に切り捨てる、(2)きわめて低い水準の補償である、(3)加害企業チッソを「免罪」するものに他ならず断じて容認できない。

第一に法案には「救済を受けるべき人々があたらすべて救済され」とあるが法案の言う「救済を受けるべき人々」は「通常起こりえる程度を越えるメチル水銀のばく露を受け」「かつ四肢末梢優位の感覚障害を有する者」としている。この内容では声を上げている人の「およそ3分の2」が切り捨てられてしまう。さらに3年の期限を区切ってその後にあられた水俣病患者を一切救済しない本法案は未だに声を上げられないでいる潜在患者を切り捨てるものである。

そもそも国はいまだに、地域住民の健康調査に基づく被害実態の把握をしていない。言うなれば水俣病がいかなる疾病かということは何も分かっていないのである。そのなかで、全日本民医連は長年にわたり水俣病患者の診療・研究を重ね、水俣病患者に寄り添い、被害者の治療・援護にあたってきた。水俣病患者の苦しみは法案が示すような「救済策」では決して救われないことは臨床の現場からみればあきらかである。

第二に、本法案が示す救済措置は、最高裁判決の賠償水準はもとより1995年の「政治決着」をも下回るきわめて低い水準であるなど、多くの問題を含んでいる。

第三に、本法案はチッソをいずれ清算に向かう補償のための親会社と収益を上げる子会社に分社化することとしている。加害原因企業と企業責任の免罪は、被害者が加害者チッソに対する損害賠償請求裁判などを不可能とさせるものであり断じて容認できない。

以上の点から、本法案はまさに補償を低い水準に押さえ込みかつ水俣病患者の切り捨てのための法案であることは明白であり決して認めることはできない。

全日本民医連は本年9月に熊本県などで水俣病の大規模な検診活動を通じ、水俣病の実相を明らかにするとりくみを計画している。与党PTが出した法案がいかにてたらめなものであるかが白日の下にさらされるであろう。また、問題の根本解決には患者会の願いである「司法救済制度」の確立など、被害者の声を生かした制度が欠かせない。

全日本民医連は水俣病患者の全員救済が実現されるまで、断固としてたたかうことをあわせて付け加える。

### ❖ 職員の異動 ❖

4月1日付け

谷口由美子は、くすの木薬局からすみれ薬局の管理薬剤師へ、野村周子は、すみれ薬局からひまわり薬局の薬剤師へ、江藤忍は、ひまわり薬局からくすの木薬局薬剤師へ異動になりました。

### ❖ 新入社員紹介 ❖



事務の岡本修(福祉用具貸与事業所)、薬剤師の西山ひかる(ひまわり薬局)、緒方美里(ひまわり薬局、5月からさくら薬局)、長崎由佳(ひまわり薬局)です。よろしくお祈りします!!

### 2009 4月 オープン!!! 福祉用具貸与事業所ひまわりが

健康共同ファルマに福祉用具貸与事業所ひまわりがオープンしました。介護保険についてのいろいろな相談も受け付けています。ぜひご利用ください。

ご用命の点がありましたら岡本までお気軽にお尋ねください。

熊本県指定 福祉貸与事業所

(有)健康共同ファルマ 福祉用具貸与事業所 ひまわり  
熊本市神水1丁目21-16(旧ひまわり薬局2階)  
電話(096-387-5211) FAX(096-387-5323)